

**学力調査の結果を
分析してみよう！**

「分布」と「経年変化」

- このシステムでは、「みやざき小中学校学習状況調査」と「全国学力・学習状況調査」の結果について、各学校で分析するための帳票を作成することができます。
- 帳票は、各学校で入力されたデータをもとに、「分布」と「経年変化」によって児童生徒の実態が把握できるよう、一覧表やグラフで出力されます。
- 一覧表やグラフは、いくつかの種類のものでありますので、帳票の利用の仕方に合わせて、各学校で適切なものを選択してください。
- 「全国学力・学習状況調査」には（学校入力データ）と（文科省データ）があります。帳票には、経年比較を表示するグラフ等、（学校入力データ）を入力しないと、反映されないものがあります。また、（文科省データ）は文科省から結果が発表された後に反映されます。
- 「みやざき小中学校学習状況調査」を想定して説明をしています。あくまでも、それぞれの帳票の見方についての例示です。各学校での分析の参考にしてください。
- 分析によって児童生徒の実態把握をし、課題を明確にしたら、「各教科の授業改善」や「学校全体や学年、学級の組織的な取組」についての具体的な対応策を検討し、学力向上に向けた取組を実施してください。

各種帳票一覧

みやぎ小中学校学習状況調査

- 1 学習状況調査結果一覧
- 2 平均正答率の平均・合計からみた分布★
- 3 各教科等順位
- 4 各教科の平均正答率からみた分布★
- 5 各教科の正答数(正答率)分布★
- 6 各教科の観点・分類ごとの経年比較★
- 7 あなたの調査結果(個票)
- 8 解答情報分析★

全国学力学習状況調査 (学校入力データ)

- 学習状況調査結果一覧
- 平均正答率の平均・合計からみた分布★
- 各教科等順位
- 各教科の平均正答率からみた分布★
- 各教科の正答数(正答率)分布★

・ この口にチェックをして、必要な帳票を出力してください。

全国学力学習状況調査 (文科省データ)

- 各教科の正答数(正答率)分布
- 9 みや学・全国の経年比較一覧表

・ 実際の画面には、番号はついていません。
・ 番号は、各種帳票の説明にあわせてつけています。

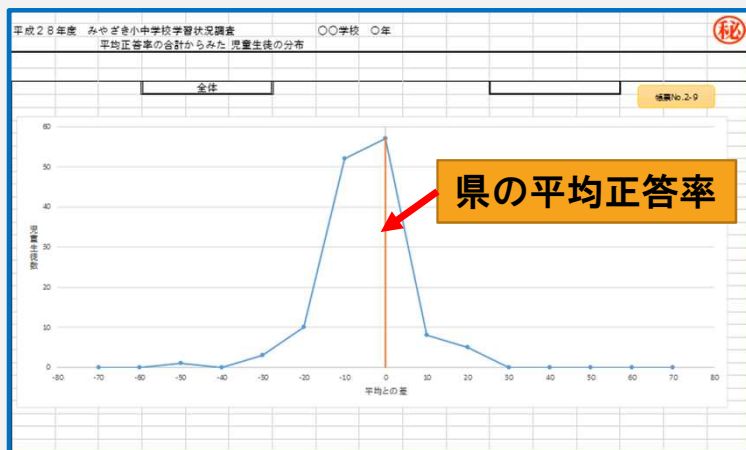
1 学習状況調査結果一覧

平成28年度 みやざき小中学校・学習状況調査結果一覧(学級別) ◎◎小学校 

NO	5年1組	小学校5年								合計	平均との差
		国語A	国語B	数学A	数学B	理科A	理科B	社会A	社会B		
	問題数	20	5	20	5	20	5	20	5	100	
	宮崎県	14.0	3.0	11.0	2.0	12.0	2.0	13.0	3.0	60.0	
1	テスト 一節	18.0	3.0	16.0	4.0	15.0	3.0	15.0	3.0	77.0	17.0
2	テスト 二節										
3	テスト 三節										
4	テスト 四節										
5	テスト 五節										
6	テスト 六節										
7	テスト 七節										
8	テスト 八節										
9	テスト 九節										
10	テスト 十節										
11	テスト 一子										
12	テスト 二子										
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
26											
27											
28											
29											
30											
31											
32											
33											
34											
35											

- 学級別に、「平均正答数」と「平均正答率」の結果一覧が出力されます。
- エクセルファイルで出力されますので、各学校で、学年全体や順位別、教科ごと等の一覧表に加工することが可能です。

2 平均正答率の平均・合計からみた分布①



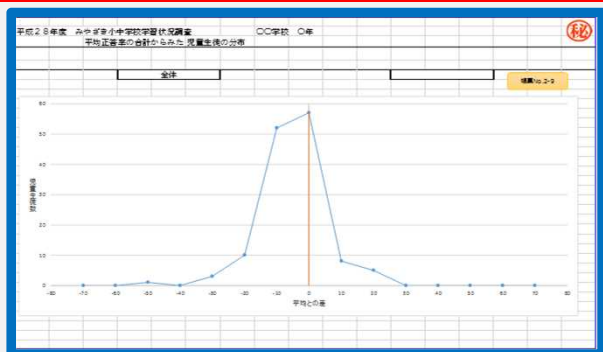
- 平均正答率の合計からみた、児童生徒の分布が出力されます。
- 横軸は「県の平均正答率との差」を示し、縦軸は「児童生徒数」を示しています。
- 学年全体の分布と学級ごとの分布がセットで出力されます。



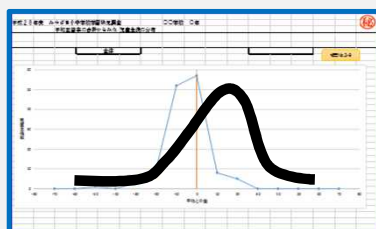
- 平均正答率の平均からみた、児童生徒の分布が出力されます。
- 個人の氏名についている色は、前年度からの順位の上がり下がりを表しています。(H30年度以降)
- 学級ごとの分布のグラフと合わせてみると学級全体の結果をより把握できます。

2 平均正答率の平均・合計からみた分布②

このグラフを使って…

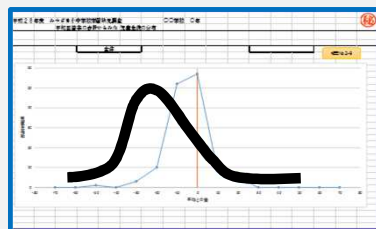


- 学年や学級の全体的な傾向が把握できます。
- 授業のレベルを設定するときの参考にします。
- 学年や学級として、どのレベルの児童生徒の学力を向上させる必要があるのかを把握し、学力向上についての取組を検討するための参考にします。



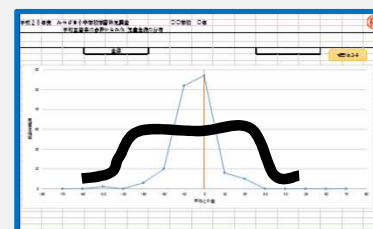
(例)全体的にプラスの方向に山があるグラフ

- 県の平均正答率を上回っている児童生徒が多いことを示しています。
- 県の平均を下回っている児童生徒へのきめ細かな配慮や補充指導等の取組が考えられます。



(例)全体的にマイナスの方向に山があるグラフ

- 県の平均正答率を下回っている児童生徒が多いことを示しています。
- 学年、学級の組織的な取組について、迅速に具体的な対応策を検討しましょう。



(例)プラス方向にもマイナス方向にも広がっているグラフ

- 学力の2極化傾向も考えられます。
- 県の平均を下回っている児童生徒へのきめ細かな配慮や補充指導等の取組が必要です。
- ペアやグループ活動のメンバー構成や座席にも配慮しましょう。

3 各教科等順位

平成28年度 みやざき小中学校・学習状況調査

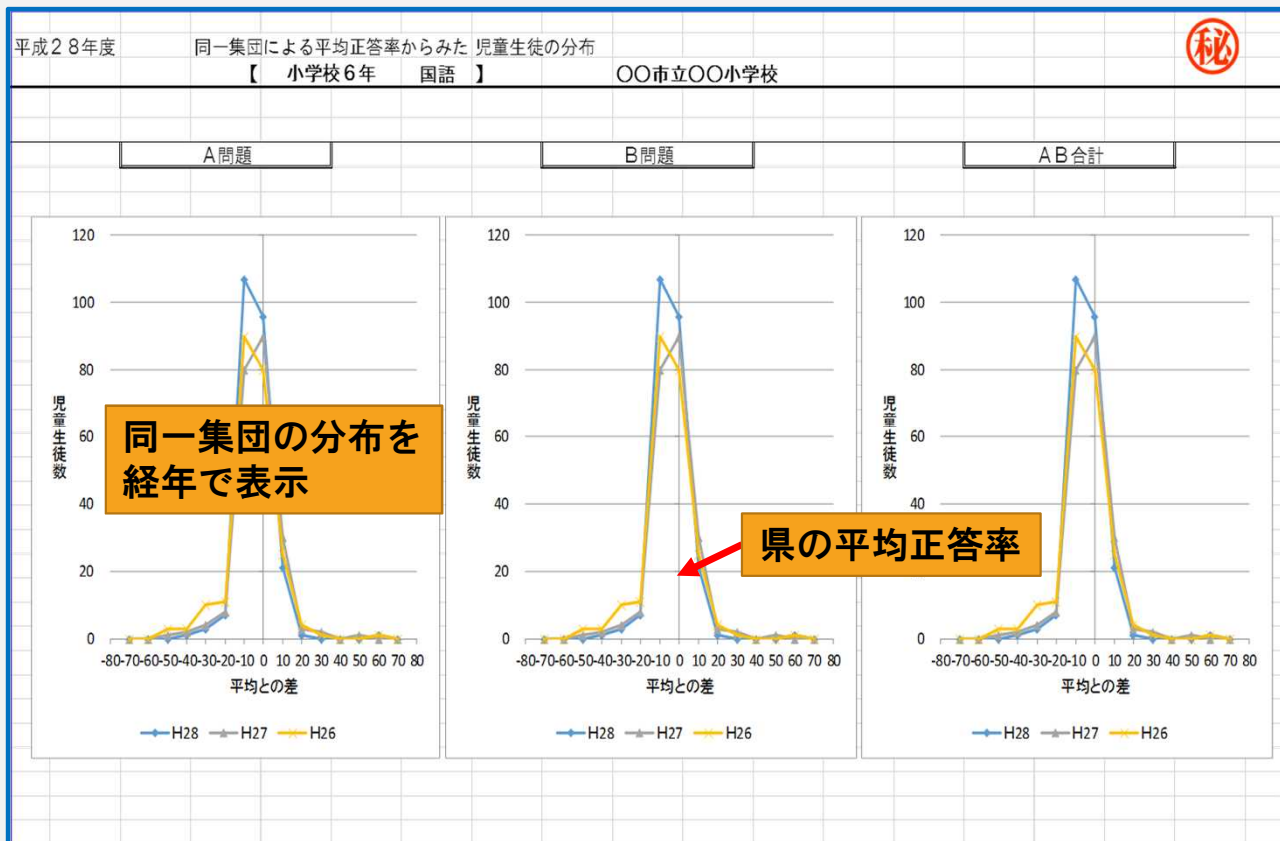
児童生徒別 各教科等順位 【 中学校1年 】 ※県平均は全国平均、県平均は県平均を表す。

国語A			国語B			数学A			県の平均正答率		
氏名	平均	順位	氏名	平均	順位	氏名	平均	順位	平均	順位	県平均
宮崎県	67.0										
1			1			1			1		4
2			2			2			2		25
3			3			3			3		3
3			4			4			4		10
5			5			5			5		14
6			6			6			6		12
7			7			7			7		11
8			8			8			8		23
9			9			9			9		6
10			10			10			10		19
11											18
12											1
13											13
13			14			13			14		16
15			15			15			14		22
15			16			16			16		7
17			17			16			17		20
18			18			18			18		26
19			19			19			19		2
20			20			19			20		24
21			21			21			21		21
22			22			22			22		17
23			23			23			23		3
24			24			24			24		15
25			25			25			25		9
26			26			26			26		5
27			27			27			27		27
28			28			28			28		28

各教科と合計の児童生徒の順位

- 各教科と合計の順位の一覧表が出力されます。
- 学年全体の一覧表と学級別の一覧表がセットで出力されます。
- 「全国学力」では、全国平均と県平均が表示されます。「みや学」では、県平均が表示されます。

4 各教科の平均正答率からみた分布①

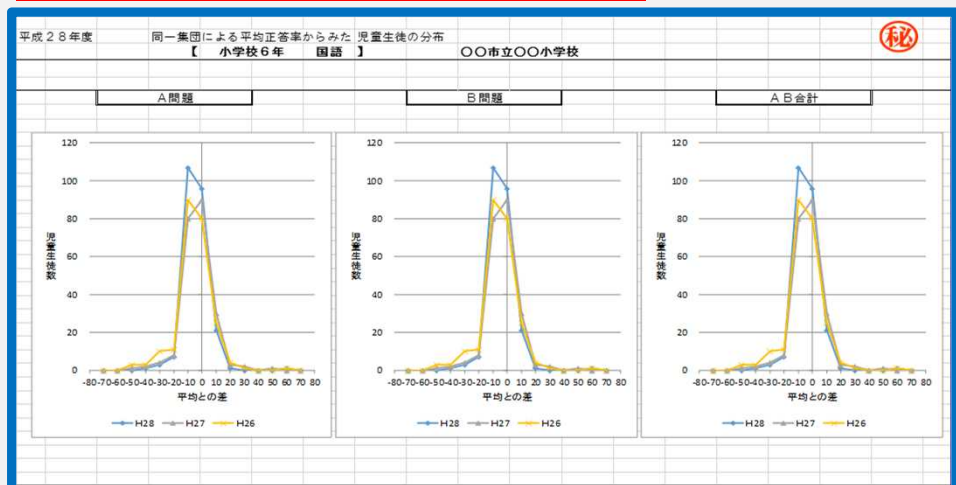


- 各教科ごとに、平均正答率からみた児童生徒の分布が出力されます。
- 「A問題」「B問題」「AB合計」の3つのグラフが、1枚に表示されます。
- 横軸は「県の平均正答率との差」を示し、縦軸は「児童生徒数」を示しています。
- 学年全体の分布と学級ごとの分布がセットで出力されます。

- 同一集団の分布を経年で比較できるように、複数年のグラフが同じグラフに表示されます。(H30年度以降)

4 各教科の平均正答率からみた分布②

このグラフを使って・・・



- 学年や学級の全体的な傾向が把握できます。
- 授業のレベルや内容を設定するときの参考にします。
- 学年や学級として、学力向上についての取組を検討するための参考にします。

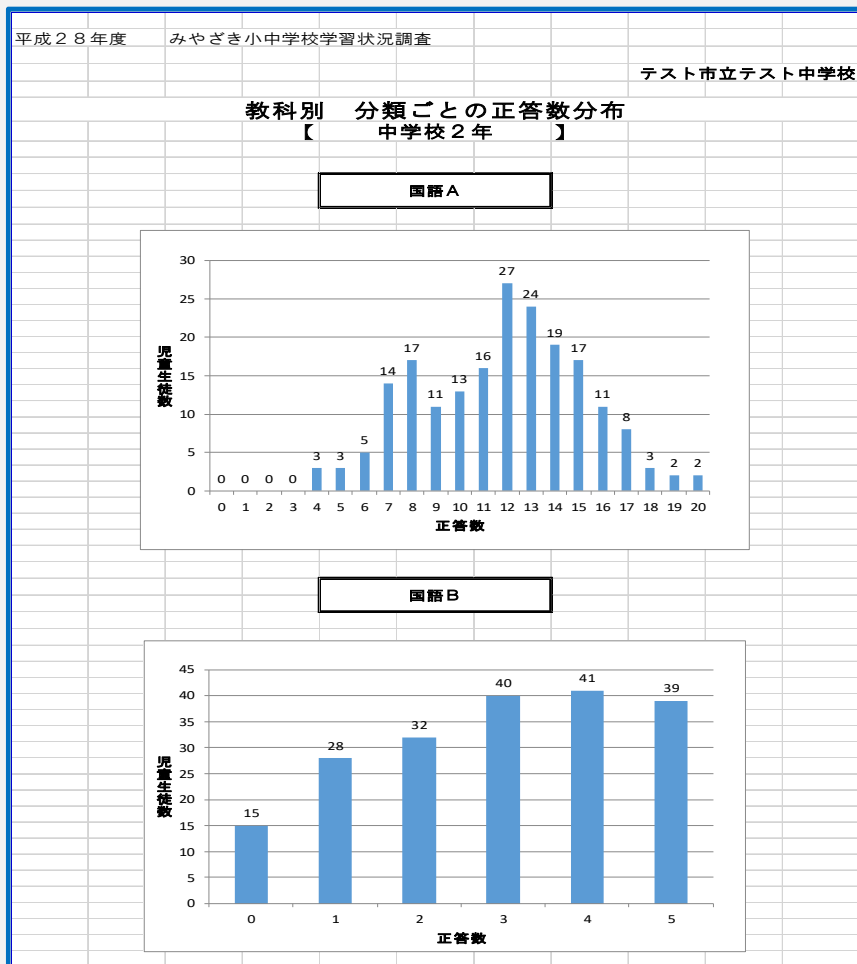
- 「A問題」（基礎的・基本的な知識・技能の定着）と「B問題」（知識・技能等を活用する力）の傾向を把握し、課題を明確にしましょう。
- 同一集団の結果を3年分の経年で比較しましょう。
小4(みや学) → 小5(みや学) → 小6(全国)、中1(みや学) → 中2(みや学) → 中3(全国)
- 次年度、児童生徒の学力が向上し、グラフがプラスの方向に移動するように、具体的な対応策を検討しましょう。

4 各教科の平均正答率からみた分布③



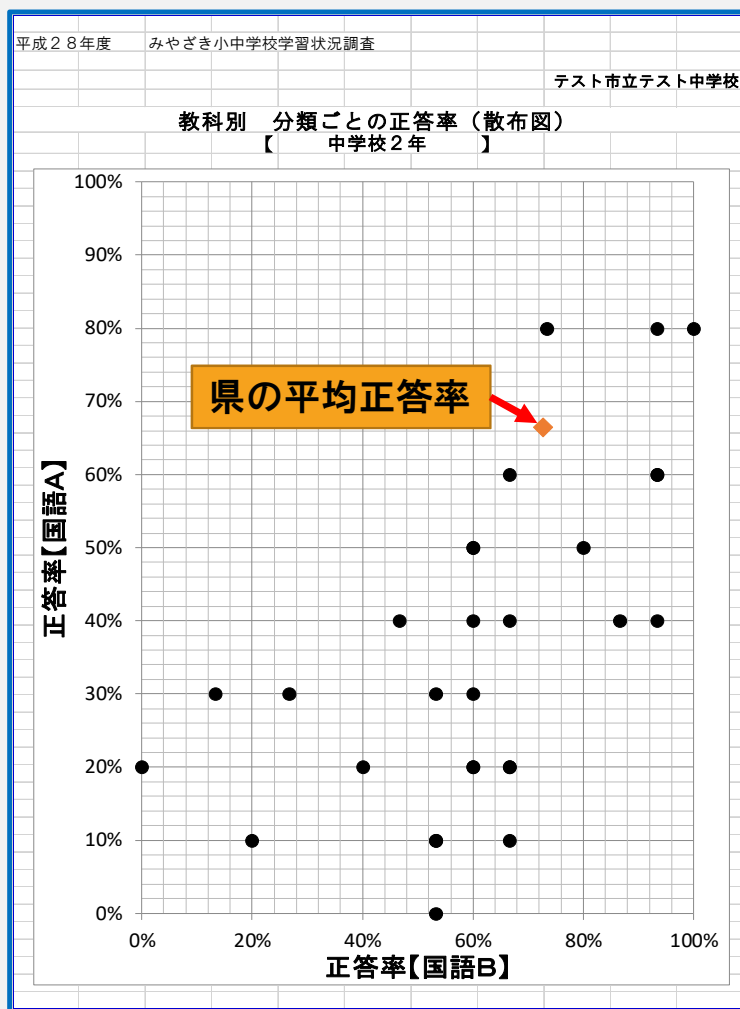
- 各教科ごとに、平均正答率からみた、児童生徒の分布が出力されます。
- 個人の氏名についている色は、前年度からの順位の上がり下がりを表しています。
(H30年度以降)
- 学級ごとの分布のグラフと合わせてみると、学級全体の結果をより把握できます。

5 各教科の正答数（正答率）分布①



- 各教科ごとに、学年全体の正答数の分布が出力されます。
- 「A問題」（上のグラフ）と「B問題」（下のグラフ）が1枚に表示されます。
- 横軸は「正答数・・・ A問題（20問）、B問題（5問）中何問が正答か」を示しています。
- 縦軸は「児童生徒数・・・ その正答数の児童生徒が何人いるか」を示しています。

5 各教科の正答数（正答率）分布②



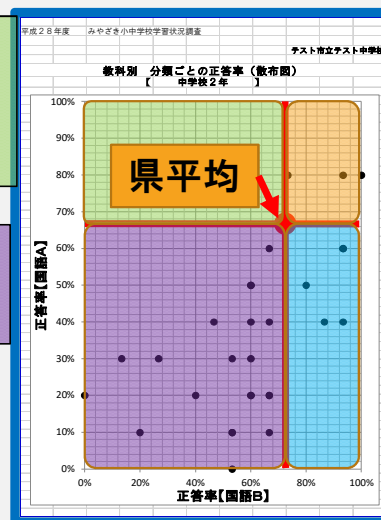
- 各教科ごとに、学年全体の正答率の散布図が出力されます。
- 縦軸は「A問題の正答率」、横軸は「B問題の正答率」を示しています。
- 黒い点は、児童生徒一人一人の結果を示しています。
- 色が違う点は、県の平均正答率を示しています。

5 各教科の正答数（正答率）分布③

このグラフを使って…

「A問題」は平均以上、
「B問題」は平均未満
の児童生徒

「A問題」「B問題」ともに
平均未満の児童生徒



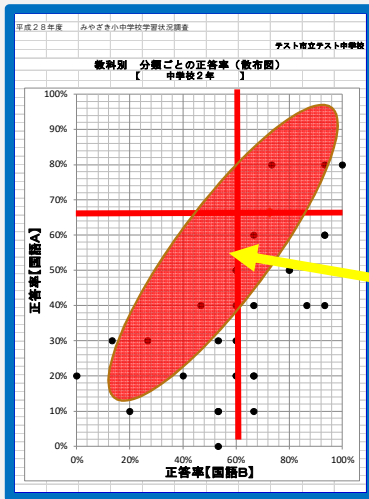
「A問題」「B問題」ともに
平均以上の児童生徒

「A問題」は平均未満、
「B問題」は平均以上
の児童生徒

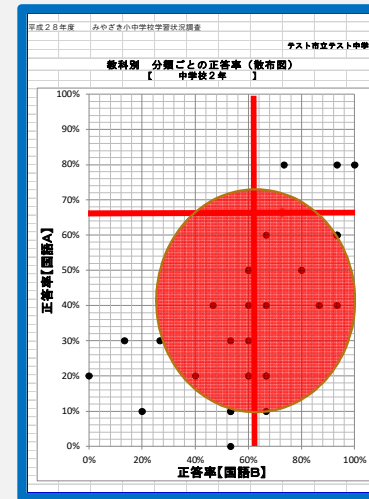
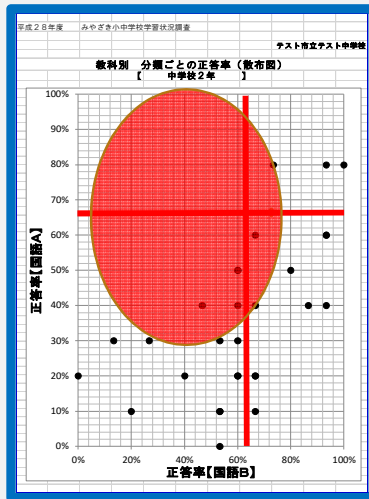
- 学年や学級の「A問題」と「B問題」の平均正答率のバランスが把握できます。
- 授業や具体的な対応策等について、「基礎的・基本的な知識・技能の定着」と「知識・技能等の活用」のどちらに重点を置いた指導をすべきかを検討するための参考にします。

5 各教科の正答数（正答率）分布④

このグラフを使って...



点が多いところ



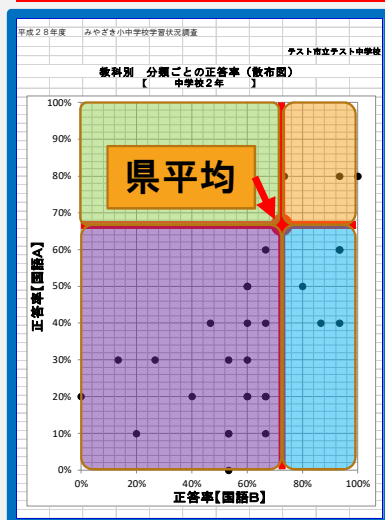
- 「基礎的・基本的な知識・技能の定着」と「知識・技能等の活用」のバランスがよい結果になっています。
- 「A問題」で、県平均を下回っている児童生徒もいます。きめ細かな配慮や補充指導等の取組が考えられます。

- 「A問題」は、県平均を上回っているが、「B問題」は、下回っている児童生徒が多いことを示しています。
- 「基礎的・基本的な知識・技能の定着」を図りながら、活用型の授業を積極的に取り入れたり、思考力・判断力・表現力等をはぐくむ取組を組織的に実施したりすることが考えられます。

- 「B問題」は、県平均を上回っているが、「A問題」は、下回っている児童生徒が多い。
- 「基礎的・基本的な知識・技能の定着」を図るような取組を組織的に実施しましょう。「B問題」もさらに向上することが期待できます。

5 各教科の正答数（正答率）分布⑤

このグラフを使って…



「A問題」「B問題」ともに平均以上の児童生徒の人数 ○名

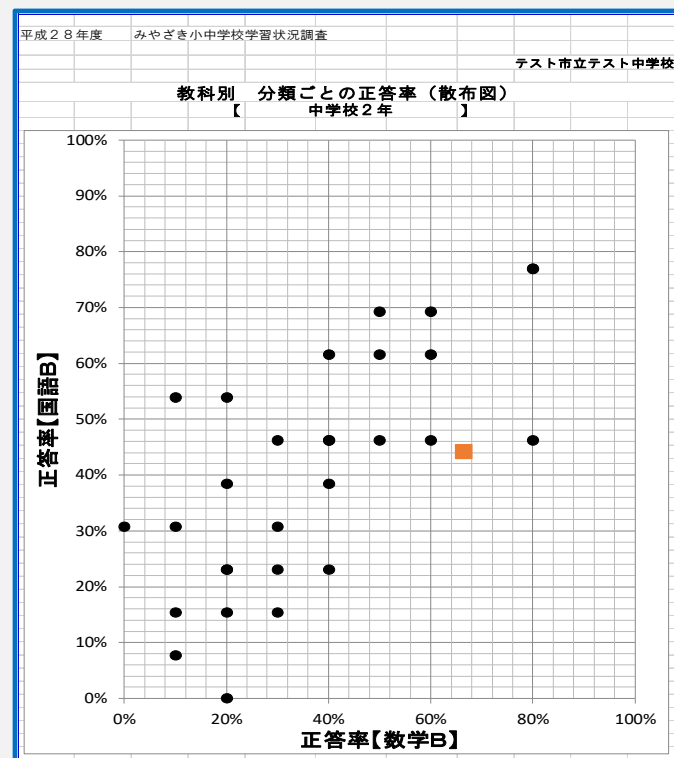
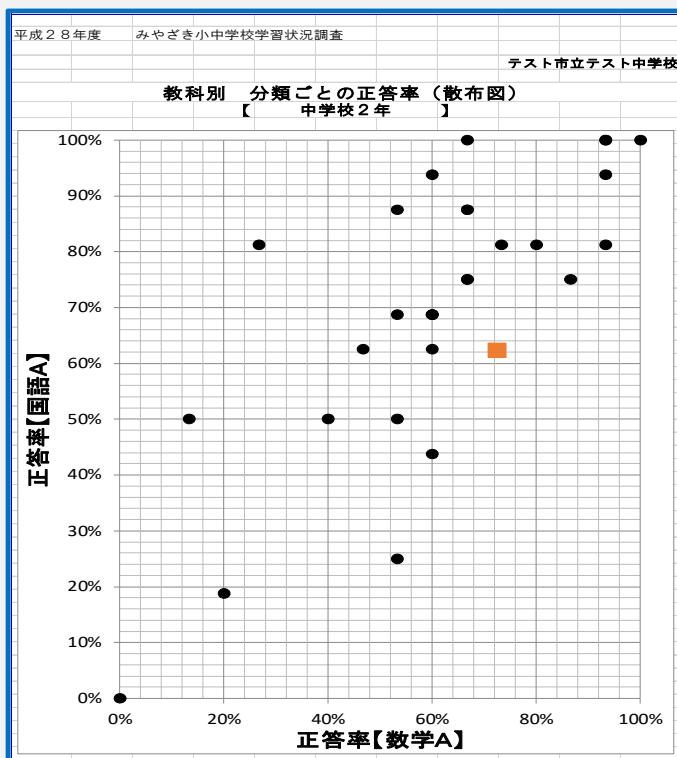
「A問題」は平均以上、「B問題」は平均未満の児童生徒の人数 △名

「A問題」は平均未満、「B問題」は平均以上の児童生徒の人数 ◇名

「A問題」「B問題」ともに平均未満の児童生徒の人数 □名

点分散していたり、数が少なかったりして、全体的な傾向がつかみにくい場合は、右のように色分けしたそれぞれのところに、何名の児童生徒がいるかを数えると、大まかな傾向をつかむことができます。

5 各教科の正答数（正答率）分布⑥



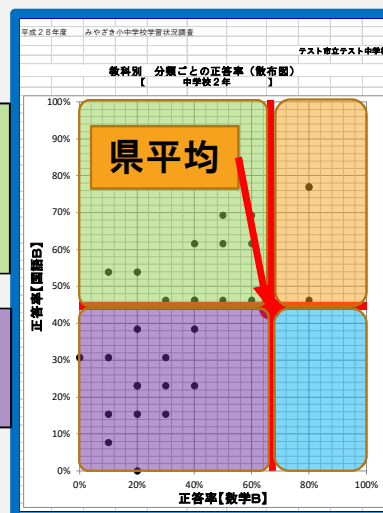
- 「国語A」と「算数・数学A」の散布図、「国語B」と「算数・数学B」の散布図が出力されます。
- 他の教科はありません。

5 各教科の正答数（正答率）分布⑦

このグラフを使って・・・

「国語」は平均以上、
「算数・数学」は平均
未満の児童生徒

「国語」「算数・数学」とも
に平均未満の児童生徒

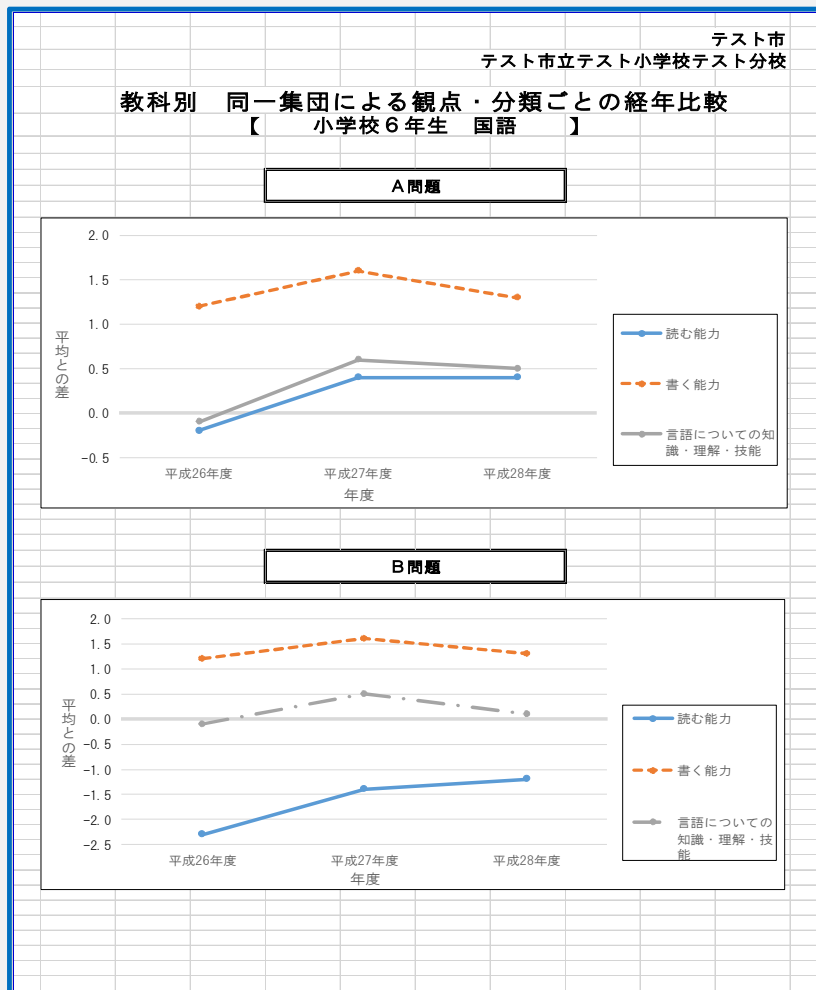


「国語」「算数・数学」とも
に平均以上の児童生徒

「国語」は平均未満、
「算数・数学」は平均
以上の児童生徒

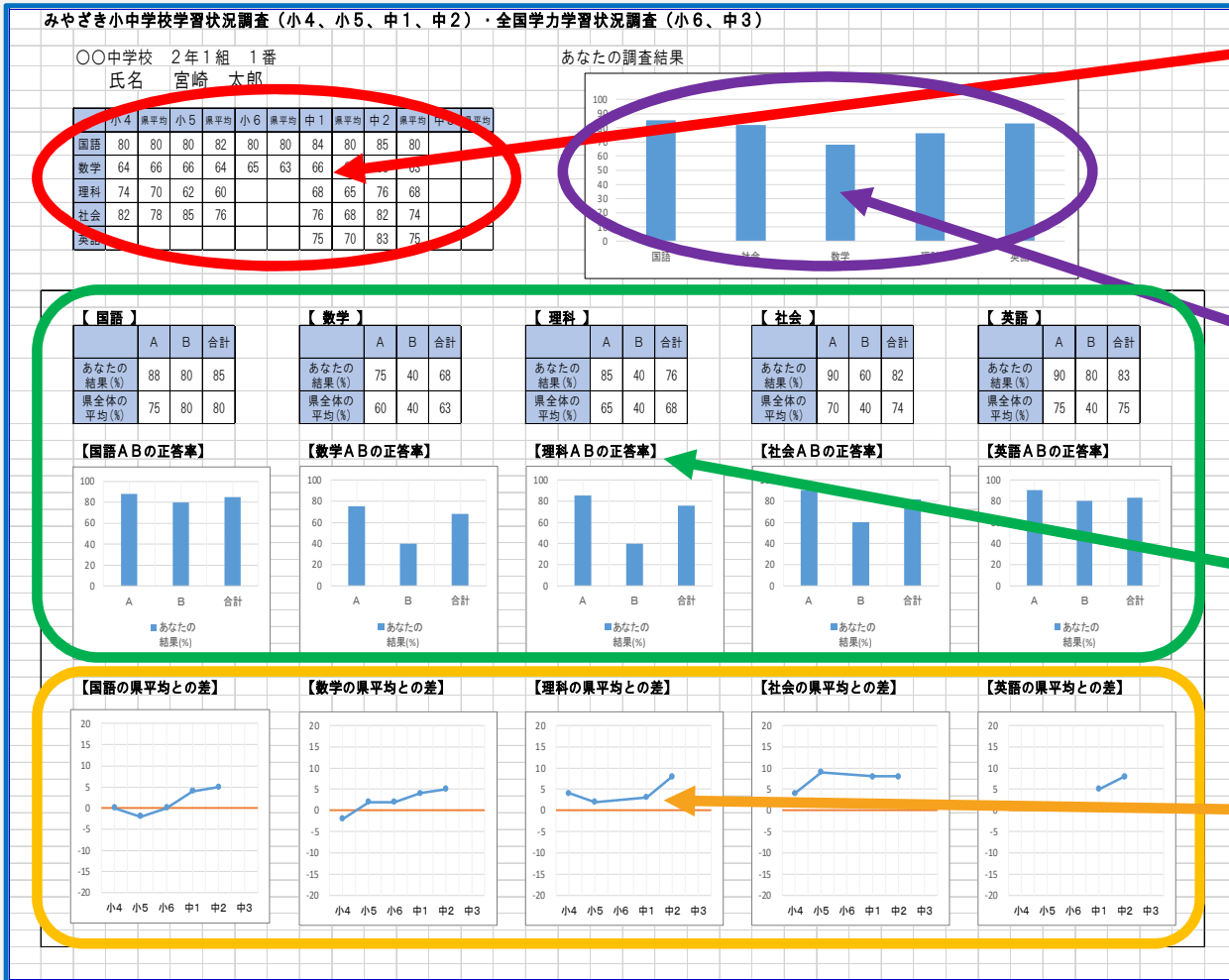
- 小学校では、学年や学級として「国語」と「算数」のどちらに課題があるのか、「基礎的・基本的な知識・技能の定着」と「知識・技能等の活用」のどちらに重点を置いた指導をすべきかを検討するための参考にします。
- 中学校では、「国語B」と「数学B」で見られる関係が、「国語B」と「他の教科のB」でも同様に見られると考えられます。学年や学級の組織としての取組を検討するための参考にします。

6 各教科の観点・分類ごとの経年比較



- 各教科の分類ごとの学校平均正答率と県平均正答率との差を、経年比較できるグラフが出力されます。
- 同一集団の結果が経年で表示されます。
小4（中1）は1年分 小5（中2）は2年分
小6（中3）は3年分(小4→小5→小6、中1→中2→中3)
- 「A問題」（上のグラフ）と「B問題」（下のグラフ）が1枚に表示されます。
- 横軸は「年度」、縦軸は「県の平均正答率との差」を示しています。（H29年度～）
- 教科、分類によって、観点の数が変わります。

7 あなたの調査結果（個票）



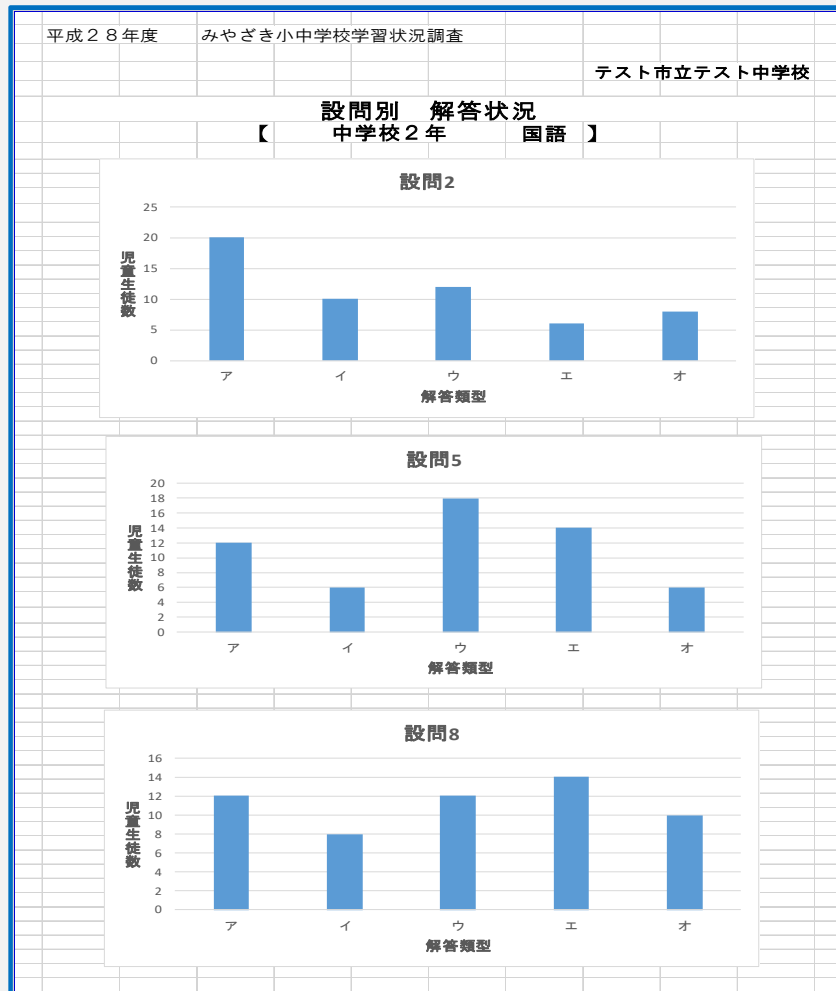
左上の表には、各教科の個人の正答率と県平均正答率が、小4～中3まで表示されます。（H29年度～）

右上のグラフには、今回の個人の結果が、各教科ごとにグラフで表示されます。

各教科ごとに、「A問題」「B問題」「合計」の正答率が表とグラフで表示されます。

各教科ごとに、県の平均正答率との差を小4～中3まで示したグラフが表示されます。

8 解答情報分析



- 問題によって、詳細な分析をするために解答類型が示される場合があります。
- 解答類型を入力した問題ごとに、解答状況がグラフで表示されます。
- 年度や教科によっては、解答類型がない場合もあります。
- 学年全体と学級別の結果が出力されます。

解答類型の例

問題	解答類型	正答	
[2] (1)	ア	①と解答しているもの	
	イ	②と解答しているもの	○
	ウ	③と解答しているもの	
	エ	④と解答しているもの	
	オ	無解答	

9 みや学・全国の経年比較

「みや学」・「全国学力」の経年比較【小学校】										
調査種類	調査年度	人数	平均正答率				理科	平均との差の推移		
			国語A	国語B	算数A	算数B		国語A	国語B	算数A
宮崎	全国学力	本県	75.0	55.8	76.8	45.5				
		全国	72.9	57.8	77.6	47.2				
		全国との差	2.1	-2.0	-0.8	-1.7				
		本県	72.1	64.0	73.7	43.7	60.0			
		全国	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8			
		全国との差	2.1	-1.4	-1.5	-1.3	-0.8			
	みや学	H27	本県	73.7	53.8	77.9	55.9			
		全国	72.9	55.5	78.1	58.2				
		全国との差	0.8	-1.7	-0.2	-2.3				
		H26	本県	65.9	57.9	67.3	42.2	67.2		
		全国	52.3	18.2	71.2	26.1	65.0			
		全国との差	13.6	39.7	-3.9	16.1	2.2			
〇〇小学校	全国学力	本校	70.1	52.4	73.3	42.8				
		県との差	-4.9	-3.4	-3.5	-2.7				
		全国との差	-2.8	-5.4	-4.3	-4.4				
		本校	72.9	60.3	79.8	41.5	56.5			
		県との差	0.8	-3.7	6.1	-2.2	-3.5			
		全国との差	2.9	-5.1	4.6	-3.5	-4.3			
	みや学	H27	本校	65.6	57.2	77.5	50.2			
		県との差	-8.1	3.4	-0.4	-5.7				
		全国との差	-7.3	1.7	-0.6	-8.0				
		H26	本校	66.0	65.4	72.8	44.4	70.1		
		県との差	0.1	7.5	5.5	2.2	2.9			
		全国との差	47.8	15.0	76.5	29.5	63.0			
【▽▽市】	全国学力	本校	47.8	15.0	76.5	29.5	63.0			
		県との差	-4.5	-3.2	5.3	3.4	-2.0			
		全国との差	-4.5	-3.2	5.3	3.4	-2.0			
		本校	66.0	65.4	72.8	44.4	70.1			
		県との差	0.1	7.5	5.5	2.2	2.9			
		全国との差	47.8	15.0	76.5	29.5	63.0			

- 「みや学」と「全国学力」の国語A・国語B・算数(数学)A・算数(数学)B・理科の平均正答率等を年度ごとに示した表と経年比較ができるグラフが出力されます。
- 左側の表の上段は県の結果、下段は学校の結果を示しています。
- 「みや学」は2年分、「全国学力」は3年分が表示されます。

- 右側のグラフの実線は、同一集団における県の平均正答率との差を示したものです。小4、小5、中1、中2は点のみ表示されます。
 - 黒い実線・・・今年度の小6(中3)の「全国学力」とその学年が小5(中2)のときの「みや学」を結んだもの。
 - 赤い実線・・・昨年度の小6(中3)の「全国学力」とその学年が小5(中2)のときの「みや学」を結んだもの。
- 「同一集団の経年の推移」「一つ上の学年との比較」ができます。
- 破線は、各学校の「全国学力」の全国平均との差を3年分(異集団の結果)示したものです。